

# ISPS-7 参加記

2017年 10月 2-6日

The Joint Conference of the  
7th International Symposium on Physical Sciences in Space  
(ISPS-7)

&

25th European Low Gravity Research Association  
Biennial Symposium and General Assembly  
(ELGRA-25)



(ISPS-7ホームページより)

M1 永田拳太郎

D2 吉田泰子

# 学会の概要



(ISPS-7ホームページより)

## International Symposium on Physical sciences in Space

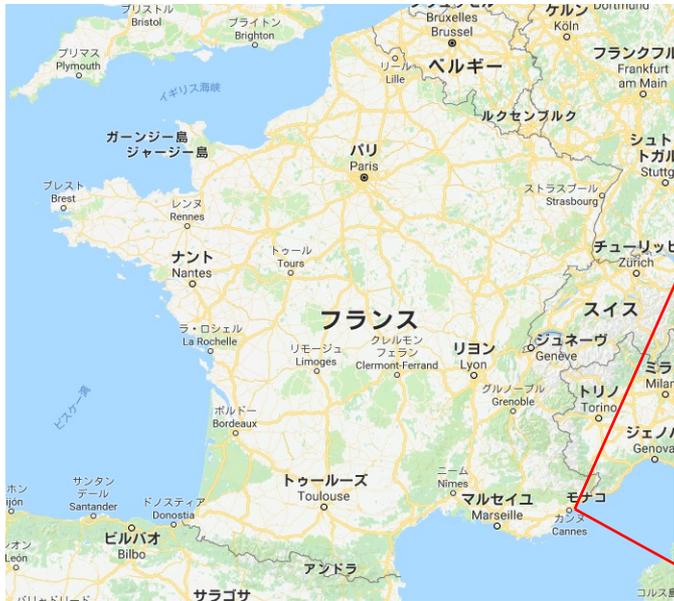
宇宙環境や微小重力環境を使用した物理学の研究成果を発表、共有することを目的とした学会です。

今回の学会はESA (European Space Agency) とELGRA (European Low Gravity Research Association) が共同で開催しました。

今回は第7回目でフランスのジュアン・レ・パンで開催されました。

# ジュアン・レ・パン（フランス）

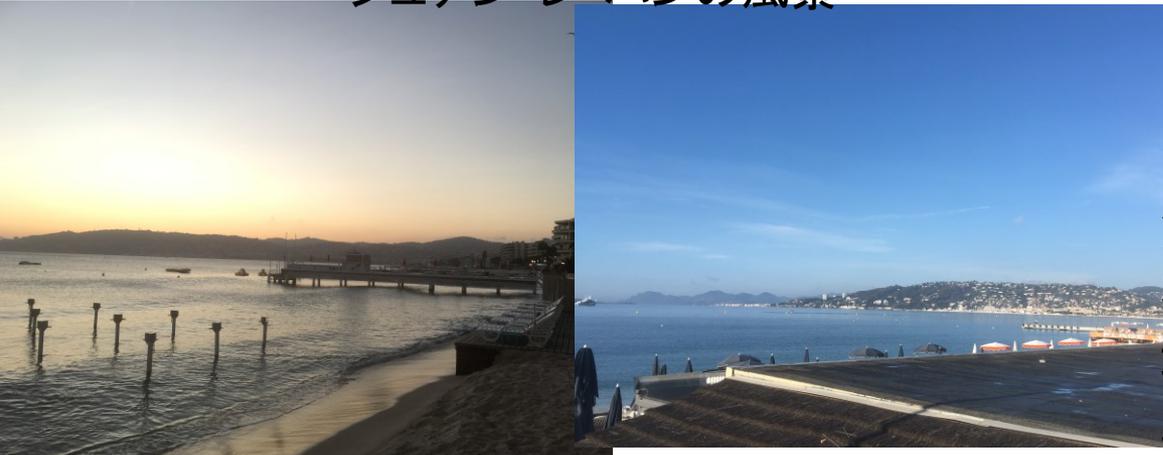
会場のあるジュアン・レ・パンは南仏の地中海（コート・ダジュール）に面した地域



アンティーブの風景



ジュアン・レ・パンの風景



気温は日本とほとんど変わらず、非常に過ごしやすかったです。地中海の素晴らしい景色を毎日見ることができました。

# フライト



東京 → ドーハ 11時間  
ドーハ → ニース 8時間

かなりの  
ロングフライトでした...



ハマド国際空港のオブジェ



飛行機も新しく非常に快適なフライトでした。  
後から知りましたが、カタール航空は2017年の  
顧客満足度1位の航空会社らしいです！

# 学会会場

## Antibes Juan-les-Pins Conference Centre



建物の外観もさることながら、メインの会場は青が基調でどことなく宇宙を感じさせるような雰囲気がありました。



Welcome reception



吉田の発表



Conference dinner

学会期間中は発表以外にも研究者同士の交流を図る企画が多く用意されていました。

# バンケット



バンケットは、海が目の前に広がるおしゃれなレストランでした！

学会中開催されていた写真コンテストの結果発表があり、1位と1票差で2位でした！！あと少しで1位だったことを思うと悔しかったですね...

食事の途中で学会参加者によるバイオリンの演奏などもありとても和気あいあいとしたバンケットでした。



# 学会に参加して（永田）

今回の学会参加にあたって一番苦労したのはやはり準備でした。何を一番伝えたいのか、何度も考えなおし、発表全体のストーリーを固めていきました。発表練習では、学部生時代に授業で学んだ英語のプレゼンテーション方法についての知識が非常に役に立ったと感じています。

私の発表は学会の4日目で、本番の会場の雰囲気や事前を知っておくことができ、当日は落ち着いて発表できました。一方で、質疑応答では英語のなまりに苦戦しました。インドの方からの質問では、正直7割ぐらいの内容を聞き取れませんでした。しかし、最後の一文だけは聞き取れたため、こちらから質問内容を確認し、質問に答えることができました。いろいろな国の人と交流し耳を慣らしていくことが大切だと感じました。

自分らしく堂々と発表できたので終わった後は達成感を感じました。今回の経験を今後の研究更には将来の職場で役立てられるように、向上心と志を持って努力していきたいと感じました。

今回海外での研究発表という貴重な機会を与えてくださった三上先生、瀬尾先生に本当に感謝しております。また、発表準備から練習まで協力してくださった液滴班の皆さんそして研究室メンバーに心から御礼申し上げます。

# 学会に参加して（吉田）

【学会準備】たくさんあるデータから何がおもしろくて、どのように伝えるべきかとストーリーを考えることに苦戦してしまいました。自分自身英語に対して苦手意識が強く、苦手なことに対してすぐ怯んでしまうため、自信をもって臨むためには、事前の準備を如何に行っておくかが重要でしたが、発表準備の計画が甘かったことが悔やまれます。今後は余裕をもって臨めるよう、しっかりと計画を立て望むようにしていきます。

【学会発表】セッション開始時は発表を聞く人が少なく質問が一つもなかったらどうしようと不安を抱えつつ発表を開始しました。緊張のあまり数か所すっ飛ばしてしまい練習不足が悔やまれる発表となりました。質疑応答ではNASAのChiamonteさんから複数の質問をいただきましたが、途中から来られたようで、質問と答えがうまくかみ合わず苦戦しました。結局自分では回避することができずに共同研究者であるJAXAの菊池さんに助けをいただきました。セッション終了後に燃え広がりの動画を見ていただき、研究の趣旨が伝わりました。また、インドの方から質問をいただきましたが英語のなまりに慣れておらず、こちらも苦戦。ですが、研究内容に興味を持っていただけたことがよかったです。

【フランス滞在】いつも海外に行った際は最終日近くで早く日本に帰りたいなと感じていましたが、初めてもう少し滞在したかったなと感じました。ジュアン・レ・パンはそれほど住み心地の良いところでした。歩いてホテル周辺を散策したり、電車に乗ってちょっと隣町まで移動してみたり、南仏のご飯を食べたり色々体験させていただきました。

最後に、このような貴重な体験の機会を与えてくださった、三上先生、瀬尾先生に感謝申し上げます。また、発表準備や練習に付き合っていたいただいた研究室メンバーにも感謝申し上げます。ありがとうございました！



# モナコ

ジュアン・レ・パンから電車で50分！

F1モナコGPのコースを1時間半程度かけて1周歩いてきました！街並みは素晴らしく、走っている車の多くが超高級車でした。



カジノ

3番コーナー



ヘアピンコーナー



モナコ大公の自動車博物館にて歴代のF1マシン



**カンヌ** 永田君がモナコへ行っている間、私はカンヌへ行ってきました！！

カンヌ映画祭の会場の横にあるカジノ

カンヌ映画祭のときによくテレビで映る有名な方々が泊まるホテル。



唯一字が読めた、セリーヌ・ディオンの手形

カンヌの街を一望できる高台に登ってきました。

夏の時期は過ぎていましたが、まだまだ泳いでいる人がけっこういました。  
私も足だけ浸かってきました。



# 南仏での食事について

南仏のプロヴァンスでは隣国がイタリアであることから、ピザやパスタなどイタリア料理が主流のように感じました。

余談ですが...フランスに行った際はぜひオレンジーナというジュースを飲んでみてください！日本のオレンジーナは果汁だけしか入っていないですが、本場フランスは生の果肉が入っており、格段においしいです。

ガレット



ワッフル生地の中にサラダやハム、チーズ、卵などが挟んである



オイルサーディン  
イワシのオイル漬け



Gilt-head sea bream  
ヨーロッパヘダイ



# これから学会に参加される研究室メンバーへ

学会発表というだけでもハードルが高く、大変だと感じると思いますが、国際学会では、国内学会で体験することができないことが多くあると思います。なにより、行ったことのない国に行けるかもしれないだけで貴重な体験になると思います。発表準備や練習、質疑応答と言語がすべて英語になるため、さらにハードルは高く感じると思いますが、経験するとしなければ自身の成長に違いがでてくると 생각합니다。私も英語は苦手ですが、発表後にはあまりの英語のできなさに恥ずかしくもなりますが、経験を重ねることで土壇場の度胸もついてくるし、海外の学生を見て頑張ろうという気持ちになることができます。ぜひ、国際学会をモチベーションに研究に励んでください！！